



1 はじめに

これまでの優良実践校の取組は大変参考になりました。

本校は、県北部の津山市の中央に位置し、生徒数約220名の小規模校です。これまで生徒指導上の問題などにより学校が落ち着かない状況が続いていました。また、学習面においても長年にわたって全国及び県の学力・学習状況調査の結果がそれぞれ平均を下回るなどの課題がありました。

教職員は、生徒一人一人が希望する進路の実現を目標に次のことについて取組を行いました。

2 生徒指導の取組

初めにSWOT分析を行い、本校の強みと弱みを分析しました。次に、「誰もが行きたくなくなる学校づくり」に取り組んで来られた総社市立総社西中学校の実践を参考にさせていただき、



対人関係スキルの学習の様子

生徒指導主事が中心となり対人関係スキルの学習とキャリア教育、品格教育（グッドビヘイビアチケットの活用）を行いました。教員間においてもグッドビヘイビアチケットの取組を行いました。さらにハイパーQU等を活用し、意図的に生徒に声をかけをするキャンペーンを行いました。配慮を要する生徒・長期欠席の生徒等への対応については、報告・連絡・相談・念押し

し・確認を徹底しました。各関係機関や地域のキーパーソンとの連携も密にしました。また、5年前から県事業の「規範意識向上モデル校」に指定され、学校警察連絡室の方々から、学校内外のトラブルへの対応について、指導・助言をいただくことで安心して対応することができました。

3 学力向上の取組

落ち着いた学習環境を整えるために、3分前行動1分前着席の整頓及び机上の整理、開始と終了のあいさつをきちんとするなどの授業規律を徹底しました。次に生徒に学習の手引きを使い、学習の仕方を学習させました。併せて家庭学習の仕方についても学習させました。また全国及び県の学力・学習状況調査等の過去の問題には、繰り返し取り組ませました。さらに、授業改善として管理職・主幹教諭・授業改革推進リーダーによる授業観察と指導により「岡山型学習指導のスタンダード」の授業5（ファイブ）を徹底しました。同時に本校の研究テーマである特別支援教育の視点も取

り入れた授業改善に取り組みました。放課後学習や土曜学習にも3年生を中心に取り組みました。ボランティアとして近隣の高校生や大学生・保護者の協力を得ました。



「夢の木（生徒・教職員それぞれの夢を掲示）」

4 おわりに

全国及び県の学力・学習状況調査の結果は、改善傾向にあります。また、いじめ・暴力行為・不登校の対応については、今後もきちんと対応することが求められています。

今後も職員一同で、生徒の輝く未来のために、生徒の夢の実現に向けて取り組んでいきたいと思えます。

（校長 齊藤員由）